

A

安全上のご注意

警告

-

△注意

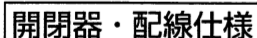
-

シングル機の結線

	ヒータ接続なしの場合	ヒータ接続ありの場合 (ヒータ後付けも含む)	※例外的な接続方法
		標準的な接続方法	
三相機			
単相機			

ツイン・トリプル・Wツイン機の結線

室内ユニットの親・子設定方法 (工場出荷時「親」設定)



④J内外接続線とKヒータ用電源線は、必ず別ケーブルとしてください。

ヒータ接続ありのシングル、Vマルチ（システム）の場合（FDTW、FDE）

〈FDE〉

室内ユニット		ヒート電源仕様						例外的な接続方法の場合						アース線		
		手元開閉器			配線用			手元開閉器			配線用					
		電源線			ヒート電源線			電源線			ヒート電源線					
		開閉器長さ	②ヒート電源線	③ヒート電源線	開閉器長さ	②ヒート電源線	③ヒート電源線	開閉器長さ	②ヒート電源線	③ヒート電源線	開閉器長さ	②ヒート電源線	③ヒート電源線			
		②	③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		太さ	おじ
単相	EVXP40,45 EP50,56	15A 30mA 0.1sec以下	15A	15A	15A	2.0mm ² × 2	24m	CXP40,45 CVP40,45 CXP50,56	30A 30mA 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² × 2	22m	M5	
三相	EVXP40,45 EP50 ~ 63 EVP50 ~ 63							CXP40,45 CVP40,45 CXP50 ~ 63 CVP50 ~ 63					3.5mm ² × 3	19m		
	EVXP80							CXP80 CVP80	30A 30mA 0.1sec以下	30A	30A	30A		29m		
	EVXP112							CXP112 CVP112					25m			
	EVXP140							CXP140 CVP140	40A 30mA 0.1sec以下	60A	40A	40A	8mm ² × 3	26m		
	EP160 EVP160							CXP160 CVP160								
	EP224 EVP224							CXP224 CVP224	—	—	—	—	—			
	EVXP280	30A 30mA 0.1sec以下	30A	30A	30A	5.5mm ² × 3	36m	CXP280 CVP280	—	—	—	—	—	5.5mm ²		
						26m										

ヒータ接続ありのツイン・トリプル・Wツインの場合

ヒータ容量	漏電遮断器 定格電流		半元開閉器		配線用遮断器	ヒータ用電線数
			開閉器容量	B種ヒューズ		
	③		④			⑤
3.4kW以下	15A	30mA 0.1sec以下	15A	15A	15A	2.0mm ² × 3
5.3kW以下	30A	30mA 0.1sec以下	30A	30A	30A	3.5mm ² × 3
8.7kW以下	40A	30mA 0.1sec以下	60A	40A	40A	5.5mm ² × 3
11.0kW以下	50A	30mA 0.1sec以下	60A	50A	50A	8.0mm ² × 3

- 直射日光の当たる所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

① リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。

② リモコン線は、 $0.3\text{mm}^2 \times 2\text{心}$ の電線またはケーブルを使用してください。(現地手配)

③ リモコン線の総延長は 600m です。

延長距離が 100m を超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大 0.5mm^2 以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。

$100 \sim 200\text{m}$ 以内・・・ $0.5\text{mm}^2 \times 2\text{心}$

300m 以内・・・ $0.75\text{mm}^2 \times 2\text{心}$

400m 以内・・・ $1.25\text{mm}^2 \times 2\text{心}$

600m 以内・・・ $2.0\text{mm}^2 \times 2\text{心}$

④ 誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。

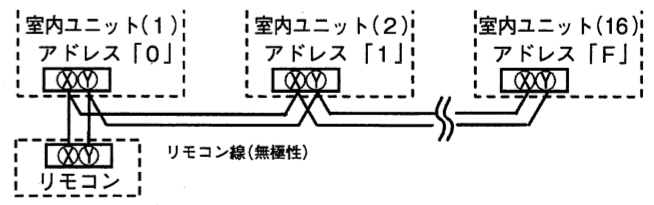
⑤ リモコン線はアース (建物の鉄骨部分または金属など) からできるだけ離してください。



⑥ リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

① 1つのリモコンで複数台のユニット（最大16台）を制御
できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。

② 各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してく



電源投入後、リモコンの **エアコン** ボタンを押すと室内アドレスが表示されますので、  ボタンで接続されている室内アドレスがリモコンに表示されることを、必ず確認してください。

室内ユニット確認方法

エアコンNoが表示されている時に**運転切換**ボタンを押すとそのNoの室内ユニットが送風運転します。(表示例:「内000 送風」)

再度**運転切換**ボタンを押すと、送風運転を停止します。但し、エアコンが運転中の場合は無効です。

複数リモコン使用時の親子設定

室内1台（又は1グループ）に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。

ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン＋ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せが可能です。

①子リモコンの切換えスイッチ（ワイヤードリモコン：SW1、ワイヤレスキット：SW1-2）を「子」に設定してください。初期設定は「親」設定です。

○注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

③リモコンによる機能設定

機能設定

●リモコンと室内ユニットの各機能は、リモコンと室内ユニットを接続した際、標準的な使い方である初期設定に自動設定されます。標準的な使い方をする場合は、設定の変更は不要です。

但し、グリル昇降設定や、「○」印の初期設定を変更したい場合は、その機能番号の項目のみ、設定を変更してください。

機能設定のながれは、右記の通りです。
設定方法の詳細は、リモコンの据付説明書をご覧ください。

グリル自動昇降パネル使用時のご注意

初期設定では、リモコンはグリル昇降無効の設定となっています。
グリル自動昇降パネルをご使用の場合は、必ずグリル昇降有効の設定をしてください。
据付地域の電源周波数に合わせ、50Hz 地区または 60Hz 地区のどちらかを選んで設定してください。

【グリル昇降有効設定のしかた(簡易設定)】

1. エアコン停止状態で、**セッ** ボタンと **リセット** ボタンを同時に長押ししてください。
表示が「昇降無効」となります。
2. **▲** または **▼** ボタンにより設定を選択してください。
表示:「昇降無効」⇔「有効 50Hz」⇔「有効 60Hz」
3. **セッ** ボタンを押す
表示が「設定完了」となります。その後リモコンは停止状態に戻ります。

【機能設定のながれ】

開始: エアコン停止状態で**セッ** + **運転切替** ボタン同時 3 秒押し

確定: **セッ** ボタンを押す

戻る: **リセット** ボタンを押す

選択: **▲** / **▼** ボタンを押す

終了: **運転/停止** ボタンを押す
(設定の途中でも終了しますが、設定が完了していないものは無効になります。)

「○」: 初期設定

「※」: 自動判別

設定方法の詳細は、リモコンの据付説明書をご覧ください。

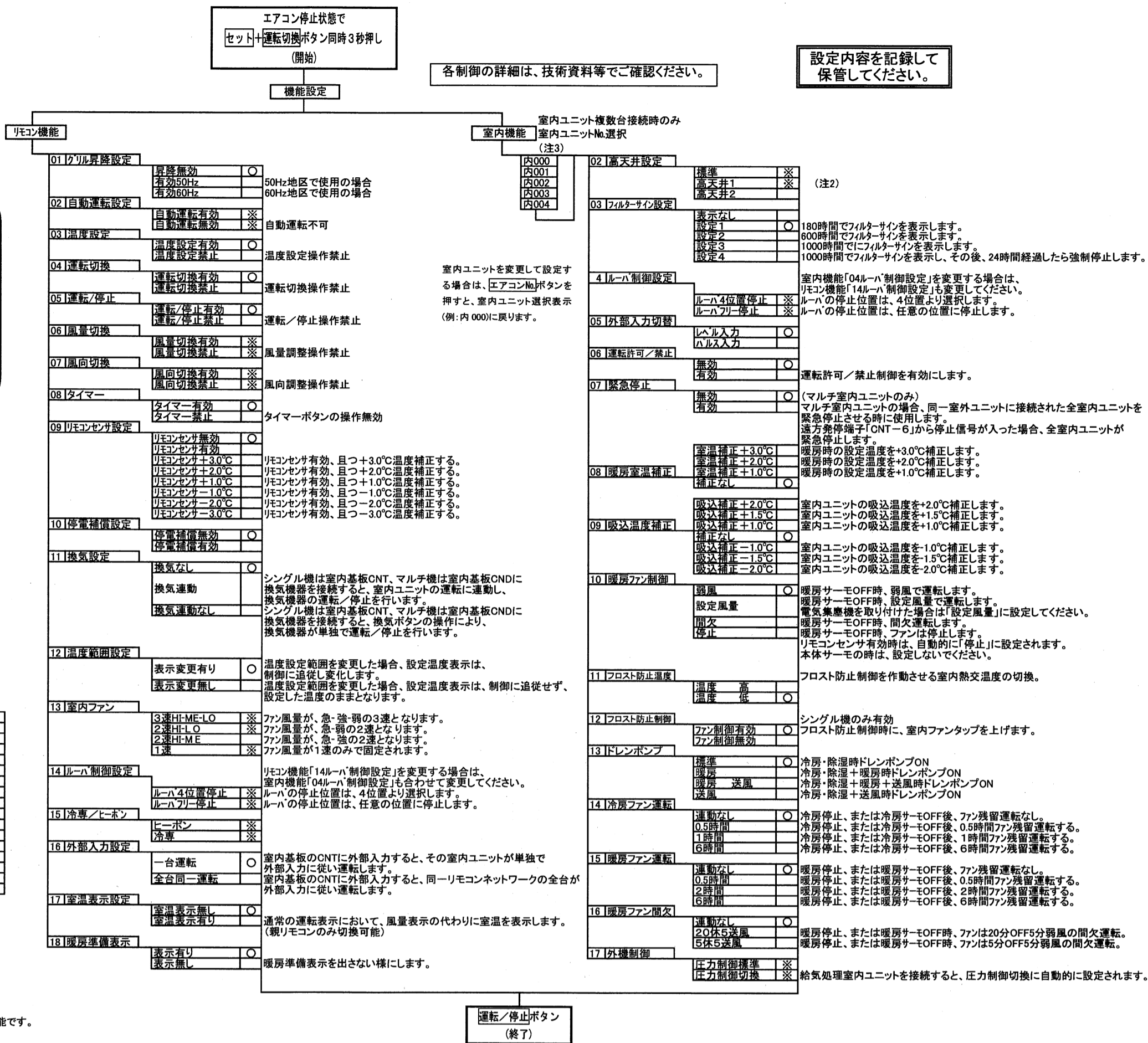
注1:「※」印の初期設定は、接続される室内ユニット及び室外ユニットにより異なり、下記の通り自動判別されます。

機能番号	項目	初期設定	機種
リモコン機能02	自動運転設定	自動運転有効	自動運転可能な機種
リモコン機能06	風量切替	自動運転有効	自動運転可能な機種
リモコン機能07	風向切替	自動運転有効	自動運転可能な機種
リモコン機能13	室内ファン	自動運転有効	自動運転可能な機種
リモコン機能14	ルーバ制御設定	自動運転有効	自動運転可能な機種
室内機能04	ルーバ制御設定	自動運転有効	自動運転可能な機種
リモコン機能15	冷暖/ヒートポンプ	自動運転有効	自動運転可能な機種
室内機能17	外機制御	自動運転有効	自動運転可能な機種

ファンタップ	高・強・弱	高・弱	高・強
高天井	Hi-MeLo	Hi-Lo	Hi-Me
高天井	UHH-Me	UHM-Me	UHH-Me

機種によって、初期設定が高天井設定の機種もあります。

注3:ツイントリプル・Wツイン機の場合、室内機能設定は親室内ユニット・子室内ユニット各々設定してください。但し、「05 外部入力切替」「06 運転許可/禁止」は親室内ユニットのみで設定可能です。



④試運転

冷房試運転方法

リモコンを次の手順で操作してください。

1. 冷房試運転の開始
①**運転/停止** ボタンを押して、運転します。
②**運転切替** ボタンにより、「冷房」を選択します。
③**試運転** ボタンを 3 秒以上押しします。
表示が、「冷房試運転▼」となります。
④「冷房試運転▼」の表示で、**セッ** ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。
表示は、「冷房試運転」となります。
2. 冷房試運転の解除
下記のいずれかの操作が行われた時、冷房試運転は解除され、「冷房試運転」表示は消灯します。
①**運転/停止** ボタンが押された時。
②温度設定 **▲** / **▼** ボタンが押された時。
③**運転切替** ボタンにより冷房以外のモードに変えた時。
④冷房試運転開始より、30 分経過した時。

運転データの確認方法

リモコン操作により、運転データの確認ができます。

【操作手順】

1. **点検** ボタンを押します。
表示が「運転データ表示▼」となります。
2. 「運転データ表示▼」の表示で、**セッ** ボタンを押します。
3. リモコンに接続されている室内ユニットが 1 台の場合、「データ確認中」表示となり、(データを読み込む間点滅表示) その後、運転データ項目 01 (右表) が表示されます。
7.へお進みください。
4. リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレスが表示されます。
【例】「室内機選択」(1 秒間点灯)「内 000▲」(点滅)
①**▲** ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
②**セッ** ボタンにより確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)
「内 001」(選択した室内アドレスを 2 秒間点灯)
↓
「データ確認中」(データを読み込む間点滅表示)
その後、運転データ項目 01 が表示されます。
5. **▲** / **▼** ボタンにより、現在の運転データを確認できます。
表示される項目は右記の通りです。
※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。
6. 室内ユニットを変更する場合は、「**エアコンNo.**」 ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
7. **運転/停止** ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

●運転データの確認は、リモコン 2 台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

ドレンポンプ試運転方法

ドレンポンプ運転がリモコン操作により可能です。

リモコンを次の手順で操作してください。

1. ドレンポンプ強制運転の開始
①**試運転** ボタンを 3 秒以上押しします。表示が「冷房試運転▼」となります。
②**▲** ボタンを一度押し、「ドレンポンプ運転◆」を表示させます。
③**セッ** ボタンを押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:「**セッ**」で停止
2. ドレンポンプ運転の解除
①**セッ** ボタン又は、**運転/停止** ボタンを押すと、ドレンポンプ強制運転を解除します。エアコンは停止状態となります。

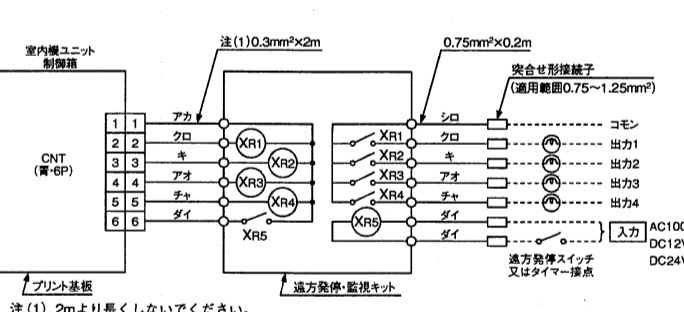
○リモコン 2 台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

⑤制御の切替

●室内ユニットの制御内容を下記方法にて切替可能です。(□は工場出荷時の設定)

スイッチNo.	制御内容
SW2	室内アドレス(0-FH)
SW5-1	親/子切替(ブルーラル/子機設定)
SW5-2	機種容量
SW6-1~4	ON 運転チェックドレンポンプ試運転 OFF 通常運転
SW7-1	ON 運転チェックドレンポンプ試運転 OFF 通常運転

⑥室内基板CNTコネクタの機能



- XR1~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
- XR5は、DC12、24Vまたは100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
- CNTコネクタ (現地側) メーカー、形式
コネクタ: モレックス製 5264-06
端子: モレックス製 5263T

出力	機能
出力1	エアコン運転出力(エアコンON時XR1=ON)
出力2	暖房出力
出力3	コンポン出力(コンポンON時XR3=ON)
出力4	エアコン点検出力(エアコン点検時XR4=ON)
入力5	出荷時 XR5 OFF⇒ON エアコンON XR5 ON⇒OFF エアコンOFF 現地切替 XR5 OFF⇒ONのハルズ信号によりON/OFF反転

●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。

⑦故障診断方法

異常発生時の運転データを記憶し、リモコンから異常運転データの確認ができます。

データ項目は「**試運転**」の項目を表示します。

※機種により該当するデータがないものは、その項目は表示されません。

【操作手順】

1. **点検** ボタンを押します。表示が「運転データ表示▼」となります。
2. **▲** ボタンを一度押し、「エラーデータ表示▲」に切替えます。
3. **セッ** ボタンを押すと、異常運転データ表示モードに入ります。
4. リモコンに接続されている室内ユニットが 1 台の場合は、以下の表示となります。
①異常履歴がある場合: エラーコードと「データ確認中」を表示します。
【例】「E8」(エラーコード)
「データ確認中」(データを読み込む間点滅表示)
続いて、データが表示されます。8.へお進みください。
②異常履歴がない場合: 「異常なし」を 3 秒間表示し、本モードを終了します。
5. リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合は、以下の表示となります。
①異常履歴がある場合: 接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレス番号とその室内ユニットのエラーコードを表示します。
【例】「E8」「内000▲」(点滅)
②異常履歴がない場合: アドレス番号表示のみとなります。
③**▲** / **▼** ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
④**セッ** ボタンにより確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)
【例】「E8」
「内000」(選択した室内アドレスを 2 秒間点灯) → 「E8」
「データ確認中」(データを読み込む間点滅表示) 続いて、データが表示されます。
異常履歴がない室内ユニットを選択した場合は、「異常なし」を 3 秒間表示し、室内アドレス表示に戻ります。
6. 室内ユニットを変更する場合は、「**エアコンNo.**」 ボタンを押すことにより、室内ユニット選択表示に戻ります。
7. **運転/停止** ボタンを押すと、終了します。

設定の途中で、**リセット** ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。

○異常運転データの確認は、リモコン 2 台で室内ユニットを運転する場合、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)